

松尾鉱山資料館だより

MATSUO MINE MUSEUM



資料館HPはこちら

松尾鉱山資料館 TEL 78-2598

鉱山の仕事を紹介「松尾鉱業鉄道③」

◆松尾鉱業鉄道の夢と終焉

繊維業界が不振となった昭和30年代、貿易自由化の影響もあって(株)松尾鉱業の業績は暗転しましたが、希望退職者募集や新施設の浮遊選鉱場の稼働など経営再建の手が打たれ、中でも(株)松尾鉱業の関連会社である(株)東北鉱化松尾工場からの濃硫酸出荷への期待は大きなものでした。さらに、松尾鉱業鉄道の旅客運輸は、40年代の松川地熱発電所の完成、八幡平観光道路の開通、ホテル、リフトの整備などで人流活発化が追い風になり、41年、高速電動客車「クモハ20」



ED502 最後の運行(47年)

2両の導入で旅客輸送分離によりダイヤも一日24本から36本に増便して夢をつなぎました。しかし現実には厳しく、44年の(株)松尾鉱業の事実上の閉山に伴い、松尾鉱業鉄道は運休となり、翌45年に旅客営業を廃止、47年10月に全ての歴史に幕を下ろしました。

◆鉄道車両のその後 ~老兵はなお慕進~

松尾鉱業鉄道の一部車両は他の鉄道会社に譲渡され、50トンの電気機関車「ED501・502」は寒冷地装備を外し(株)秩父鉄道で令和3年まで、電動客車「クモハ」は、青森県の(株)弘南鉄道で平成元年までそれぞれ活躍しました。

現在、当資料館に静態保存されている25トンの電気機関車「ED251」は、松尾鉱山と取引のあった盛岡の会社が引き取ったものの、スクラップにはしては忍びないと約20年間保存した後、平成5年に当時の松尾村に寄贈されたものです。

図書館だより

LIBRARY



図書館HPはこちら

図書館 TEL 75-1700

松尾コミュニティセンター図書室 TEL 76-3235

荒屋コミュニティセンター図書室 TEL 72-2505

◆一緒にクリスマスお話を楽しみませんか

12月は毎週、週末にクリスマスをテーマにしたお話を開きます。季節の変化を感じながら、一緒にクリスマスを迎えましょう。

■期間 12月3日(土)から25日(日)までの期間の土日

■時間 ▶土曜日：午後2時半から

▶日曜日：午前11時から 各回30分程度

※事前申し込みは不要です

※開催時間は変更になる場合があります。

※10日(土)は午前と午後1回ずつの開催となります。

◆新着ピックアップ

『作って発見！西洋の美術』

著・工作／音 ゆみ子、発行／東京美術
ゴッホやピカソ、ダ・ヴィンチなど有名な美術作品のエッセンスを生かした工作を通じて、美術を鑑

賞する感受性を養う事を目的とした本です。

眺めたり、知識を蓄えるだけでなく、西洋美術のおもしろさを体感できる本になっています。



『おいしい魚ずかん』

監修／上田 勝彦、編集／WILLこども知育研究所
出版社／金の星社

私たちの食卓に上がる機会の多い22種類の魚介類を中心に、魚のくらしや体の特徴、おいしい食べ方などを紹介しています。また、資源量についても紹介されていて、魚という海の資源を大切に食べないでいこうというメッセージが込められています。

